調査報告③
国立国語研究所（国研）の会話データ分析

熊谷　智子
東京女子大学

１．国立国語研究所の研究成果と会話データ分析

※研究所としての研究成果（個人研究でなく）

- 会話データの収集・分析
- 「会話データに準ずるもの」の収集・分析
- 会話のデータベース、コーパス

会話データの収集・分析 (1)

24時間調査　　文献①②③

調査への内省による回答でなく、
実際の言語生活における行動を見る

初期の先駆的な試みとしての会話記録

→ 「談話」という単位
　話題のうつりかわり　　など

会話データの収集・分析 (2)

話しことばの特徴の分析　　文献④⑤⑥

- 従来、文法で研究されてきたのは整合性の高い「書きことば」的な文の姿
- 倒置や言いさし、くり返し、省略なども多い話しことばの文はどのようなものなのか？

  構文、語彙、イントネーションなど
- 表現意図（発話機能）の重視

会話データの収集・分析 (3)

談話行動の分析　　文献⑦

- 談話テクストの作成方法
- 発話のうけつぎ
  （ターン配分、あいづち、内容のうけつぎ）
- ポーズとイントネーション
- 声の使い方、調音
- コミュニケーション・ネットワーク
  （メッセージのやりとりの計量的分析）
- 身振り・動作のあらわれ方

「会話データ」に準ずる調査回答データ

文献⑧⑨⑩

- 「この場面で何と言うか？」式の調査質問への回答

  文を超えたまとまりとしてのデータ

  大規模調査による多人数の回答データ

「実態」でこそないものの、数百人の母語話者のもつ「言語行動遂行イメージ」の傾向

→　言語教育にとっては貴重な情報

文献⑪⑫　後述

会話データ分析の資料整備

データベース、コーパス類　　文献⑬⑭⑮⑯

- 「日本語学習者による日本語／母語発話の対照言語データベース」
- 『方言談話資料』
- 『全国方言談話データベース　日本のふるさとことば集成』
- 『日本語話し言葉コーパス』

２．事例1：話しことば研究と教材開発

- 『話しことばの文型(1)』　　文献⑤

↓

表現意図／発話機能と文型から見た「総合文型」
複数の観点から発話の特徴を記述するアプローチ

↓

- 『日本語教育映画基礎編　総合文型表』
- 『日本語教育映像教材中級編　機能一覧表』

文献⑪⑫

『話しことばの文型(1)』の表現意図分類

①詠嘆表現（未分化的表現、やや分化した表現）

②判叙表現

　判断既定の表現

　　事実の叙述（態／様／時の表現）

　　断定の様相（断定／希求／推定／意志の表現）

　判断未定の表現（判断未確定、判断への疑念）

③要求表現

　質問的表現

　　肯否要求（確認要求／判定要求の表現）

　　選述要求（選択要求／説明要求の表現）

　命令的表現（消極的行為要求／積極的行為要求の表現）

④応答表現（未分化的表現、やや分化した表現）

『日本語教育映画基礎編　総合文型表』の発話機能分類

○文末の表現意図

叙述要素文、伝達要素文、疑問要素文、要求要素文、など

○発話の動機

自律的、非言語的文脈への対応、言語による文脈への対応

○働きかけの種類

没対者性（独語／聞かせ）、対者性（要求／非要求）

○発話内容に対する態度

中立的／肯定的／否定的

これらの組合せで発話文の機能を考える

『中級編　機能一覧表』、熊谷（1997）の発話機能分類項目

①行為的機能
②相手への働きかけの姿勢
③話題・内容に対する話し手の評価・態度
④同調性
⑤話し手の種類
⑥発話の受け手の種類
⑦話し手と相手との力関係への影響
⑧話し手と相手との親疎関係への影響
⑨発話のきっかけ
⑩発話のうけわたし
⑪発話のうけつぎ
⑫談話構成上のはたらき

研究と応用の循環性

- 話しことばの文型の研究

  表現意図と文型

  ↓

- 日本語教育用ビデオの関連教材

  シナリオ分析：発話機能と表現形式

  ビデオ利用のための発話インデックス

  ↓

- 会話分析のための発話機能特徴分析

３．事例2：方言談話データの教材への利用

- 秋田県高年層の会話データ

  看護師研修生の聴解用素材として提供

社会的ニーズによる方言指導

地域方言の生の音声データ

文字化や共通語訳の有用性　　文献⑭⑮

４．研究と教育の連携に向けて

- 研究者の想定内の応用
- 研究者の想定外の応用

「想定外の応用」はどのように実現するのか？